参考資料

障がい者虐待事案について

○寝屋川市のプレハブ監禁事件の概要

大阪府寝屋川市の住宅のプレハブに女性（３３）が監禁され死亡した事件で、死体遺棄容疑で逮捕された父親（５５）と母親（５３）は「１日１回程度しか食事を与えていなかった」と供述。府警捜査１課は十分な食事を与えず死亡させた疑いがあるとみて、監禁致死や保護責任者遺棄致死容疑も視野に調べる。

両容疑者は、女性は精神疾患で、１５年以上監禁していたと説明している。捜査関係者によると、女性は身長１４５センチに対して体重は１９キロで、極度にやせて低栄養状態だった。背中には床ずれがあり、寝たきり状態だった可能性もある。

寝屋川市障害福祉課によると、事件前に虐待の情報はなかった。

（2017年12月26日産経WESTより一部抜粋）